

特選
金融担当
大臣賞

2022

第55回「おかねの作文」コンクール

インフレに負けない私流おこづかいの守り方

東京都・白百合学園中学校 3年 和田 桜子

みなさんは「お金に余裕のある生活」と「お金に苦労する生活」、どちらを望みますか？ 私を含めて多くの方がやはり「お金に余裕のある生活」に憧れるのではないのでしょうか。

最近ニュースを見ると毎月のように、身近な物が何でもかんでも当たり前のように10パーセントくらい値上がりしています。しかし、両親がもらえる給料も上がっていませんし、銀行などに預けている普通預金の金利も0.001%と雀の涙のようなもので、物の値上がり(インフレ)に家計が対応できていません。銀行に預けていれば、株式や投資信託などの商品と違い、元本は各銀行1,000万円までは保証されているので絶対に値下がりしない。本当にそうなのでしょう。今の世の中だと1万円札でも、物の値段が毎月のように上がると、実質買える量が減ってしまい、1万円の価値が毎月変動しているように思えます。

同じことを私のおこづかいでも感じています。毎月もらえるおこづかいは同額なのに、しっかり貯金をして無駄遣いもしていないのに、前よりも買えるお菓子や文房具は確実に少なくなっています。

私のおこづかいを守りたい！ インフレに勝ちたい！ 一体どうしたらよいのでしょうか。

私はなぜか株式ニュースを見るのが好きで、日本経済新聞も読んでいます。そのことを母に伝えると「1日100円のおこづかいを1日1ユーロや1ドルなど他の国のお金にしてみる？」と提案されました。リスクとリターン両方あると思いましたが、よく考えて、どのような世の中になってもよいように「世界第一位の流通量」で、またテレビのニュースでも新聞でも一番よく目にするので、「毎日のレートを確認しやすい」ドルでおこづかいをもらう決定をしました。ルールとしては、①私が子どものため、もらうときはおもちゃの1ドル紙幣で。②おもちゃだとお店で買い物はできないので母にいつでもお願いした日のレートで日本円に交換

してもらえる。おもちゃなので交換手数料はかからない。③現金化してもらえるレートは、その日の終値で。銭の単位は四捨五入したものになる。④利回りがよくても利息はもらえない。⑤これはトレーダー体験！日本円でもらうときよりも得をすることも損をすることもあるかもしれないが、文句を言わずにありがとうください。以上五つのルールを守って「いざ、はじめよう!!」ということで、おこづかいをドルでもらっています。

ドルのおこづかいをもらってからというもの、為替レートよりも私自身の変化の方が大きかったです。①今まではおこづかいをもらうと文房具やお菓子などをよく買っていましたが無駄遣いをしなくなった。②今まで以上にニュースや新聞が気になりよく見るようになった。③アメリカや他国の状況、為替レートに関係することがらなどを勉強するようになった。④損はしたくない！と自分で計画を立てるようになった。このような四つの自分自身の変化とともに、私のおこづかいも右肩上がりに増えていきました。1年間このようなおこづかい方法を試してきて、増やすコツは三つあるように思います。①節約をしておこづかいを使わない。②おこづかいとは別にお手伝いをして臨時収入を得る。③日本円だけではなくドルなどにも分散したおこづかいの運用をする。この三つがそろってはじめて成果が出た気がしています。

最近、高校でも金融商品を学ぶ授業ができたり、ジュニアNISA口座など社会の変化により日本の預貯金の運用も変化を迎えてきていると思います。有名な老子の格言で、「魚を与えるのではなく、魚の釣り方を教えよ」というものがありますが、私の両親は私にお金をただ渡すのではなく、お金の使い方、増やし方、貯め方の知恵やコツ、知識を伝授してくれました。私もその知識や体験を通して良かったことは、「前よりもお金を大切にしようという気持ちが強くなったこと」と「ニュースや新聞を毎日見ることが日課になったこと」です。

私が大人になるころには年金が出るの？ AIに仕事をとられない？ 雇用はどう？ と心配はありますが、どのような時代になっても自分の資産と生活を守れるよう、もっと経済の仕組みを勉強して、知識を深めていきたいです。これからも「おこづかい大作戦」を続けていき将来につなげていきます！